



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 270

2019年

9～10月号

行 事 案 内

9月手賀沼探鳥会

期 日 9月8日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前8時
 (サマータイムです。)

案 内 まだまだ残暑が厳しい中での探鳥会となります。第2機場駐車場のオープン時間が遅いため、ヒドリ橋～第2機場～道の駅～お立ち台の順序で移動します。鳥の少ない時期ですが、昨年同期では、ホシゴイ(ゴイサギの幼鳥)、ショウドウツバメなどが観察されています。渡り途中の思わぬ鳥に出会えるかもしれません。まさに探鳥会の醍醐味です。暑さ対策と水分補給を忘れずにご参加ください。

解 散 11時
 担 当 嶋崎省

会いを期待しましょう。

解 散 正午
 担 当 関口英治

9月、10月手賀沼定点カウント

期 日 9月3日(火) 雨天延期
 10月1日(火) 雨天延期
 集 合 我孫子市役所 午前9時

解 散 正午予定
 担 当 金子雅幸、坂元貴子、船津登、桑森亮

連絡先 桑森亮
 Tel : 04-7182-3149

10月手賀沼探鳥会

期 日 10月13日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 (サマータイムから通常時間に
 戻ります。)

案 内 秋本番、手賀沼にカモ類が渡って来る季節になりました。ミサゴやハヤブサも見られるかもしれません。さわやかな秋空の下、沼沿いを歩いて水鳥や猛禽、小鳥たちとの出

9月、10月ビオトープ調査

期 日 9月5日(木) 雨天延期
 10月3日(木) 雨天延期

集 合 手賀沼ビオトープ 9月は午前8時30分、10月は午前9時30分

案 内 9月は留鳥のほかに夏鳥のツバメ、チュウサギが、10月にはユリカモメが見られるようになります。2018年9月は16種、10月は20種の野鳥を観察しました。9月にはカラタチの実が、10月にはハゼノキ、ヌルデの実がなり、野草では9

月にニラ、ヌスビトハギの花が、10月にはセイタカアワダチソウの花が咲きます。花・葉を求めて蝶、蜂、ゾウムシ、コガネムシ、バッタ等の虫、トンボも見られます。夏から秋の季節の移り変わりを感じつつ、探鳥し、周りの景色も観察してみましよう。初めて参加希望の方は下記まで連絡頂き、当日は五本松公園の駐車場に9月は8時15分、10月は9時15分までにお越しください。

解散 9月：午前10時30分
10月：午前11時30分
担当 鈴木静治
Tel：080-3121-4757

白樺峠・乗鞍探鳥会

*既に定員に達しておりますのでキャンセル待ちです。

期日 9月20日(金)、21日(土)
集合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前6時30分
案内 当会として4年ぶりに、タカの渡りの観察地として有名な信州白樺峠と野鳥、高山植物、温泉を楽しめる乗鞍を訪れます。
標高1600mの白樺峠ではサシバ、ハチクマなどの壮大な渡りとタカ柱が見られ、180度見渡せる自然の山間の景色は最高です。標高1500mの乗鞍高原では夜は天然温泉で身体を癒し、朝は夏鳥を探鳥します。標高2700mの乗鞍畳平までバスで行き、ホシガラス、イワヒバリ、カヤクグリ、運が良ければライチョウに期待です。
交通 小型バス
定員 20名(先着順です)
宿舎 滝見館
長野県松本市安曇乗鞍高原温泉
Tel:0263-93-2412
費用 24,000円程度
持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲

物

申込 野口隆也まで(旅行傷害保険に入るため、生年月日をご連絡ください)
Tel：04-7163-7898
担当 高波宜子、野口隆也

我孫子・柏周辺探鳥会

期日 9月29日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時30分
案内 我孫子・柏の身近な場所で探鳥する探鳥会の第2回目です(去年は雨天中止)。次のスポットを予定しています。

①利根川ゆうゆう公園：セッカ、ノビタキ、またチョウゲンボウが期待できます。

②今井の桜並木：ツツドリを探します。

③手賀の丘公園：秋の渡りのキビタキ、エゾビタキが期待できます。また、公園近くの手賀沼も探鳥します。

なお、下見を行い、探鳥地を一部変更することがあります。

解散 午後4時頃(現地、予定)
交通 自家用車分乗です。同乗者は一人500円を運転者にお渡し下さい。自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨を連絡願います。

持物 観察用具、雨具、昼食、飲み物、
申込 千葉洋まで

Tel：090-2434-4937

担当 船津登、千葉洋

稲敷探鳥会

期日 10月6日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前9時
案内 鳥の移動時期である10月は、何が見られるかはその日の運次第…と

言った一面があり、昨年は下見でムラサキサギ、本番で大陸型チュウヒやツルシギ、オオハシシギ、オジロトウネンなど39種を確認出来ました。この他にも、エリマキシギ、アカアシシギ、ショウドウツバメ、ハヤブサなどは十分に可能性のある鳥達です。今年も、我孫子から1時間ちょっとの探鳥地「稲敷」で、渡り途中の鳥と一緒に楽しみましょう！

交通 自家用車分乗です。同乗者は、運転する方へ一人1500円をお渡し下さい。尚、車提供が可能な方は、申し込み時にその旨をお伝え下さい。

申込 金子雅幸まで
Tel : 04-7133-6944
担当 松田幸保、金子雅幸

あびこ市民のチカラまつり 2019

期 日 9月14日(土) 10:00~16:00
(2Fホールは11:00~)

9月15日(日) 10:00~16:00

会 場 けやきプラザ 2Fホール他
案 内 「あびこ市民のチカラまつり」は、我孫子市の市民活動団体を中心に行政・学校・企業・商店など多様な機関が連携しながら実施する街づくり交流イベントです。市民活動団体の活動紹介、体験型イベント、ステージ・パフォーマンス、講演、シンポジウムなど様々な方法で市民活動が紹介・発表されます。今年「やりたいことのない人も、きっと見つかる楽しいイベント」をキャッチフレーズに、市民活動を知らない人でも気軽に参加でき、様々な市民活動団体と知り合い、地域貢献活動に関心を持つきっかけづくりを行うことを方針に、様々な企画が練られています。

会場はけやきプラザ2Fふれあいホールを中心に入口エントランス

広場及びアビシルベで、市内の様々な市民活動団体が参加し発表や展示を行います。また、7F研修室等では講演会などの企画イベントが行われます。

<当会の出展内容等>

当会では、この市民活動イベントに継続して参加・出展しており、今回の出展内容は、以下の2点の予定です。

- ①当会の活動紹介と探鳥会等で観察した写真のパネル展示
 - ②野鳥の写真をプロジェクターで映写し鳥の名前を当てるクイズ「この鳥なに？」や野鳥ビンゴなどの参加型ゲーム
- パネルでは当会の活動状況や会員が撮影した美しい写真を展示し、楽しいふれあいや探鳥の感動をアピールします。鳥の名前当てクイズ「この鳥なに？」は言わば野鳥観察の疑似体験で、初級・中級・上級編のプログラムを用意しています。一昨年から実施している野鳥ビンゴも含めて、参加型ゲームは子供たちに大変人気があります。当会のブースには子供たちが休む間なしに集まり、身近な野鳥やその環境を楽しみながら学んでもらう良い機会となっており、当会の重要な啓発活動の一つです。

会員の皆さん、是非お立ち寄り下さい。そして、スタッフとして多くの皆さんのご参加・ご協力をお願いします。ご協力いただける方は事務局桑森までご連絡をお待ちしております。

<連絡先>事務局 桑森まで
Tel/Fax : 04-7182-3149

ジャパンバードフェスティバル (JBF2019)

期 日 11月2日(土) 9:30~16:00
3日(日) 9:30~15:00

会 場 手賀沼親水広場、水の館、オオバン広場(鳥の博物館駐車場)、アビスタ周辺、その他

案 内 会場は昨年とほぼ同じで、光学機器関係は親水広場、学生・NPO 団体はオオバン広場、講演・作品展はア

ビスタ、水の館などの予定です。当
会は、オオバン広場のテント(予定)、
カップ噴水前展望デッキの湖畔バ
ードウォッチングのテント、手賀沼
漁協棧橋付近の船上バードウォッ
チングテントの3か所になります。

広 報 JBF 全体のイベントについては、
「広報あびこ」の10月、11月号を
ご覧ください。(インターネットで
も閲覧できます)

<当会の出展内容等>

- ① 「パネル展示」(オオバン広場テント)
当会の活動状況などをパネルにして
紹介します。具体的テーマと展示内容を
検討中です。
- ② 「野鳥の塗り絵とパタパタ工作」(オオ
バン広場テント)
野鳥の塗り絵とパタパタ工作を親子
で楽しんでもらいます。
- ③ 「庭に鳥を呼ぶ」(オオバン広場テント)
野鳥の好きな草木の実や餌を実物で
紹介します。
- ④ 「湖畔バードウォッチング」(カップ噴
水前展望デッキとテント)
湖畔の展望デッキから望遠鏡を使用
して手賀沼の鳥を見て、楽しんでもら
います。
- ⑤ 「船上バードウォッチング」(手賀沼漁
協棧橋付近のテント)
遊覧船で手賀沼を一周し、船上から手
賀沼の鳥と風景を楽しんでもらい、当
会は船内でのボランティアガイドを行
います。
- ⑥ その他
海外から数か国のブース展示も行わ
れ、当会はこれまで親交を深めている
台湾とモンゴルをサポートします。

<前日会場設営と当日参加のお願い>

- ① 当会出展の設営は、前日11月1日(金)
13時30分からオオバン広場の当会テ
ントにご参集下さい。その後、各担当の出
展場所へ移動し、設営作業を行います。
- ② 11月2日(土)9時~16時 各出展場所へ
11月3日(日)9時~15時 各出展場所へ
*会員の皆様の積極的なご参加とご協力を
お待ちしております。

台湾 金門島・北海岸探鳥会 (2020年2月~3月実施)

- 期 日 2月29日(土)~3月5日(木)
- 場 所 金門島(含小金門)、台湾北海岸、
台北
- 案 内 台湾の林さん(台湾野鳥保育協会理
事長)ご夫妻案内による探鳥会です。
今回の探鳥会は金門島でじっくり
と探鳥し、台湾北海岸の新しい探
鳥地で観察をする企画です。
金門島は沢山の野鳥の観察が記
録され、特色のある野鳥を沢山見
ることが出来ます。台湾本島では見
ることが少ない、コウライキジ、ヤツ
ガシラ、シキチョウ、アオショウビ
ン、クビワガラス等の留鳥を金門島
では通常に見ることが出来ます。越
冬のためにやってきた渡り鳥にも
会うことが出来るでしょう。中でも
色鮮やかなヤマショウビンはお勧
めです。今回の金門島では約100
種の観察にチャレンジしましょう。
台湾北海岸での探鳥は、現在候補
に挙げておりますのは田寮洋湿地
です。渡りの時期が観察に最適とさ
れています。カンムリワシなどの猛
禽類も多種観察出来そうです。北
海岸の他の探鳥地も今後検討しま
すのでご期待下さい。
- 費 用 実費(概算15万~16万円前後 為
替、参加人員、航空券等で変化しま
す)
- 定 員 20名(先着順)
- 申込締切日 9月30日
(厳守をお願い致します)
- 条 件 ・当会会員であること
・パスポート有効期限が半年以上
- 申込先 間野吉幸まで
携帯電話：080-3410-8119
申し込みは極力E-mailでの申込をお願
い致します。
- お 願 い 申込み時に下記の内容をご連絡下
さい。
①旅券記載のローマ字氏名
②生年月日(西暦)

- ③旅券番号・発行日・有効期限
- ④電話番号（固定電話と携帯電話）
- ⑤メールアドレス

ご注意 航空券は安く購入する為に早期予約を致します。予約しますとキャンセルが出来ませんのでご注意下さい。

担当 坂元貴子、田中功、弘實和昭、間野吉幸

9月役員会案内

日時 9月8日(日) 13:00~16:00

場所 水の館3F 研修室

議題 ①JBF2019への出展

②会報271号掲載予定記事

③創立50周年記念事業検討委員会委員

④ab-yachoによる情報配信基準

⑤報告事項

- ・市民のチカラまつり2019出展パネル等

- ・ホームページ運営委員会報告

- ・対外対応状況 他

⑥その他（議題のある場合は桑森までご連絡ください。

行事報告

6月手賀沼探鳥会

日時 2019.6.9 9:00~12:00

曇り 弱風 17~20℃

梅雨に入り雨を心配しながらの肌寒い探鳥会のスタートでした。

葦原ではオオヨシキリの声しきりの中、スキの穂で風に揺られながら赤い口腔が見えるほど囀るものもいました。ヒドリ橋付近の水田ではハクセキレイの親子が見られ、エサをもらっていましたが、子どもは色がグレーで目立たず見つけるのが難しかったです。第二機場辺りではハシボソガラスが上空を回り鳴いているので葦原を探すと、もう巣立つのではないかと思われる大きな子ガラスが鳴っていました。

電柱に止まったサシバを望遠鏡にとらえてくれたので、よく観察することが出来ました。

浅間橋ではヨシゴイに出会えた上、中州に営巣し抱卵しているオオバンを見つけました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、オオバン、ホトトギス、コチドリ、ミサゴ、トビ、サシバ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計32種 番外 カワラバト

<参加者>小林寿美子、小池忠彦、桑森亮、嶋崎省、西城猛、肥後邦彦、千葉洋、大谷光弘、野倉元雄、船津登、小林博之、小林美智子、西嶋昭生、西嶋みどり、金子幸子、常盤孝義、新堀正則、徳重玲子、石渡成紀、高波宜子、相良直己、石井俊子、野口紀子（担当）佐和橋みどり、坂元貴子 計25名

6月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.6.4 9:00~12:00

晴れ 24℃~27℃

手賀沼周辺はさながらムクドリ劇場。親に付いて回り餌をねだる幼鳥の声と姿で溢れていた。

コブハクチョウも幼鳥を連れた姿が見られたが、幼鳥の姿は少なく3か所で合計9羽のみ。

ミサゴが久し振りに観察されたが、我々が担当を変わってから5年で6月の観察は初めて。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	16	28	44
カルガモ	7	9	16
カイツブリ	5	3	8
カムリカイツブリ	0	1	1
カワウ	35	37	72
アオサギ	5	9	14
ダイサギ	2	2	4
チュウサギ	0	9	9
オハソ	0	4	4
コトドリ	3	0	3
合計	73	102	175

<調査者>桑森亮、金子雅幸、船津登、坂元貴子 計4名

6月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.6.6 9:30~11:10

晴れ 無風~弱風 25~29℃

沼には水鳥がほとんど見られず、水田のコブハクチョウ親子の白さや、木の頂のホオジロの囀りが目立つ。観察した野鳥は14種。水の少ない水田ではキジが歩き、ハシボソガラスが畦・水田を歩く。コブハクチョウの親子が稲の葉を食べる。その上をカルガモが飛び、セッカが囀りながら飛ぶ。ビオトープの池にはカイツブリのみが泳ぎ、高木でホオジロが囀る。森ではヒヨドリ、モズが動く。葦原ではオオヨシキリ、ヒクイナが囀り、上空をツバメ、ムクドリが飛ぶ。沼岸の葦原でオオヨシキリが囀り、カイツブリが鳴く。ホオジロが岸の桜の頂で囀る。

観察した野鳥14種38羽、他に蛙2種、蝶8種、トンボ2種、バッタ1種、アリ1種、蠅2種、甲虫2種、カメムシ2種、ク

モ1種、木の花5種、蕾2種、実1種、野草の花13種、花穂・実9種を観察しました。<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、ヒクイナ、モズ、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ホオジロ 計14種。

<調査者>鈴木静治、池田日出男、間野吉幸、船津登、蒲田知子、坂元貴子、千葉洋、嶋埼省、相馬唐代子 計9名

7月手賀沼探鳥会

日時 2019.7.14 8:15 中止決定
雨 20℃

前夜からの雨が続き、当日は市役所前に4名が集まりましたが、8時15分に雨天中止としました。雨にもかかわらずお集まりになった皆さん、ご苦労様でした。

(担当) 桑森亮

7月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.7.2 9:00~12:00
小雨 23℃~26℃

本日、目についたのは電線や枯れ木の上で囀るオオヨシキリ。雨の為、葦の上では鳴きにくかったのか？ ちょっと何時もと違う風景だった。

総数は前年より60羽強多かったが、それがカワウとコブハクチョウでは喜べない。

後半雨が上がって薄日が差すと、ウスバキトンボの乱舞が見られた。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	19	23	42
カルガモ	5	5	10
カイツブリ	1	9	10
カワウ	42	25	67
アオサギ	3	10	13
ダイサギ	0	2	2
チュウサギ	0	10	10
合計	70	84	154

<調査者>坂元貴子、船津登、金子雅幸

7 月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.7.11 8:30~11:00

曇り 微風~弱風 20~23℃

予定した 7/4 は雨のため 7/11 に延期実施しました。沼には殆ど鳥は見られなかったが、池でカイツブリの親子、水田でコブハクチョウの親子、畦にキジの親子の様子が観察出来ました。ビオトープの池ではカルガモが着水し、カイツブリの親子が泳ぎ、幼鳥が盛んにピイピイ鳴く。水面上をカワセミが飛び、桜の木にコゲラが、大木の頂でホオジロが囀る。葦原上をカワウ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、ツバメ、ハシボソガラスが飛ぶ。電柱にムクドリが止まる。水田ではキジの親子、コブハクチョウの親子、カルガモが採食し、その上空をセッカが囀りながら飛ぶ。沼の葦原ではカイツブリが囀り、カルガモとカワウが上空を飛ぶ。観察した野鳥は 14 種 58 羽。他に小動物 4 種、木の花 8 種、実 2 種、草の花 18 種、花穂・実 9 種、蛙 2 種、蝶 5 種、蛾 1 種、トンボ 6 種(特徴あるウチワヤンマ・コフキトンボ♀オビ型、夏に山地へ移動し秋に水田に戻るアキアカネの大群など)、バッタ 2 種、蜂 3 種、甲虫 3 種、カメムシ 2 種、カマキリ 1 種(ショウリョウバッタを捕食)、クモ 4 種を観察しました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、カワセミ、コゲラ、ハシボソガラス、ツバメ、セッカ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ、ホオジロ 計 14 種

<調査者>鈴木静治、間野吉幸、坂元貴子、相馬唐代子、小林建吏朗 計 5 名

印旛沼・笹川探鳥会

6 月 16 日

~印旛沼・笹川探鳥会に参加して~

鍋倉妙子

前日の雨も止み、探鳥会当日は晴天に恵まれた一日でした。先ず笹川(川の名前かと思

っていたら地名!)へ。コジュリンとオオセッカ(どちらも絶滅危惧種)で有名な場所のようです。セッカの声がよく聞こえ、夏羽の頭の黒いコジュリンも見ることが出来ました。オオセッカもなわばり宣言でさえずり飛翔していました。午後は安食方面より印旛沼へ。印旛沼サイクリングロードからサンカノゴイ、ヨシゴイ等を探す。オオヨシキリの鳴き声が聞こえ、ヨシゴイが比較的長く飛ぶ姿を見せてくれましたが、サンカノゴイは見ることが出来ませんでした。朝 8 時ごろ見たとサイクリングに来た人が話していました。日本埜村に住んでいますが、本日行った印旛沼方面は初めて行く場所でした。私の今回の探鳥の本命はコジュリンとオオセッカでしたので目的が達せられました。幹事の方々、野鳥の説明をして下さった諸先輩、車を出して下さい下さった方々、有難うございました。

【幹事報告】

午前 8 時に我孫子駅北口に集合、6 台の車で、6 号線經由取手方面へ、大利根大橋手前を左折して利根水郷ラインへ。平岡信号を左折し、安食バイパスへ。佐原方面へ、長豊橋、常磐大橋の信号を直進し神崎大橋の道の駅でトイレ休憩。9:15 出発し東庄交番前の信号手前の左側の諏訪神社でトイレ休憩。10:05 出発し、右側に木源、左側に赤いコココーラの看板、食堂はやしの看板横を左折、黒部川を渡り 10:20 に土手手前の駐車スペースに到着。利根川堤防上のコジュリン公園周辺から小見川方面へ探鳥。強風で小鳥が葦原に潜ってしまったが、それでもセッカ、オオセッカ(青森・秋田・千葉県で繁殖、千葉県で越冬)、オオヨシキリ、ウグイス等を観察し、コヨシキリ(本州には少なく北海道には多い)、コジュリン(本州と九州で局地的に繁殖)も少ないながら観察出来ました。12:30、土手下の道を通り、小見川大橋の信号を左折し、利根水郷ラインに入り、川の駅の水郷さわらに 13:00 着。フードコートで昼食、鳥合わせ、トイレ休憩後 14:00 印旛沼へ向け出発、水郷ラインを通り、道の駅こうざき、富士見橋のセブンイレブンで適宜トイレ休憩。15:10 コンビニを出発し、左折して安食駅へ、駅を左に見て、信号 2 つ目を右折。橋の手前を左折、長門川を右に見ながら、右折し橋を渡る。橋を渡って左折、長門川河口付近、

印旛沼に 15:30 着。強風の中、ヨシゴイ(日本のサギ類の中で体重 100g と最も小さい)、オオヨシキリ等を観察。残念ながらサンカノゴイ(滋賀・茨城・千葉県で局地的に繁殖する絶滅危惧種)は見られませんでした。現地解散、16:30 頃帰途につく。当日は晴れていましたが白波の立つ強風の中、手賀沼ではほとんど見られないオオセッカ、コジュリン、コヨシキリ、ヨシゴイの観察を楽しんだ探鳥会でした。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、ホトトギス、アジサシ sp、ミサゴ、トビ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュリン 計 37 種 番外 カワラバト

<参加者> 関口英治、新沢政之、大久保陸夫、弘實和昭、渡辺政一、野尻清敬、千葉洋、坂元孝行、坂元貴子、鍋倉妙子、高波宣子、新堀正則、嶋崎省、船津登、渡邊俊文、中根忠、松本勝英、津村勝吉、池田日出男、井上正、相馬唐代子、野倉元雄、徳重玲子、西城猛、(担当幹事) 桑森亮、鈴木静治 計 26 名

新入会員オリエンテーション

6 月 22 日

6 月 22 日(土)に水の館 3 階研修室にて、2018 年度に入会された会員の皆様を対象に「新入会員オリエンテーション」が開催されました。

21 名の対象者の内 8 名の参加があり、当会の活動への理解を深め、今後の活動参加に胸を膨らませていただきました。

定刻 13:30 前に集まった参加者は、世界の美しい鳥のスライドショーに目を瞠りながら、開会を待ちます。

定刻となり、船津会長の歓迎の挨拶から始まり、当会のミッション、当会の運営体制の紹介がありました。

次いで担当の相良副会長より、当会のすばら

しさ、当会の活動など、当会の紹介が下記内容で行われました。

- ① 当会の他では得られない特徴/楽しみ
- ② 当会の名人たち
- ③ 当会の年間活動
- ④ これまでの探鳥地と出会った鳥たち
- ⑤ こんな時のコンタクト先

鈴木静治幹事からは、『先達に聴く 探鳥の楽しみとヒント』と題して

- ① 探鳥の仕方
- ② 探鳥の楽しみ方
- ③ 手賀沼周辺で見られた珍しい鳥

の紹介がありました。

探鳥の仕方では、主に探鳥時のマナー、探鳥の楽しみ方の説明があった後、美しい写真や動画を交えて、手賀沼周辺で見られた珍しい鳥が紹介されました。手賀沼周辺の探鳥地と身近にみられる 82 種の紹介の後、①アカエリヒレアシシギ、②コグンカンドリ、③アカガシラサギ、④タマシギ、⑤ミヤマホオジロ、⑥サンコウチョウ、⑦ツバメチドリ の 7 種が写真や動画を用いて紹介されました。

私たちの地元である手賀沼周辺でも、毎年 100 種前後の野鳥を観ることができ、このような珍しい鳥にも出会えることに、参加者一同、感銘を受けていました。

桑森事務局長から今後の行事予定に関して、これまでの実績を踏まえた詳しい紹介があった後、参加者の自己紹介や質疑応答が行われ、活発な意見交換が行われました。和やかな内に時間が経ち閉会の時間を迎え、坂元副会長の閉会の挨拶で定刻 16:30 に終了しました。

新入会員の皆様には、当会の具体的紹介や、当会の記録、当会作成スライドショー、探鳥ツール等満載の特性 DVD が配布されました。

<参加者> 氏名 50 音順(敬称略)

【新入会員】大谷光弘、小林建吏朗、斉藤恵美子、坂穂実、新沢政之、富田道夫、富田めぐみ、久松典子 (8 名)

【既会員】桑森亮、坂元貴子、鈴木静治、芹澤正子、田中功、野尻清敬、船津登、間野吉幸 (8 名)

<担当幹事> 野口紀子、(報告) 相良直己

合計 18 名

映 写 会

7月13日

本年度の映写会が、44名の会員の皆さんの参加を得て、下記のごとく、成功裏に開催されました。

日 時 7月13日(土) 9:00~13:00

会 場 水の館3階 研修室

今年も、14名の発表者に写真、動画、スライドショーの力作をご披露いただきました。船津会長の開会挨拶の後、担当幹事石渡さんの司会進行の下で、会員の力作・傑作の数々が順を追って発表されました。

例年同様、各発表者から撮影時の秘話や解説もお聴きすることができ、素晴らしい感動的な作品の数々に時間も忘れ、堪能することができました。

特に来場者全員が初見の古賀さんのコスタリカの鳥や、渡邊さんの様々な採餌シーン、吉田さんの運搬シーンなどテーマを持った写真は来場者の目をスクリーンにくぎ付けにしました。

今回は、中西さん、多葉田さんをご都合により参会はできませんでしたが、発表作品とメッセージを担当幹事に寄せられ、担当幹事より紹介されました。

また、例年素晴らしい作品で、来場者を魅了する松田さんの動画も、都合により、直接の説明を頂くことはできませんでしたが、作品は今回も楽しませていただきました。

今年は新堀さんが発表者に加わり、写真に加えて動画の発表もあり、百瀬さんの動画の力作に加え、動画の発表、スライドショーの発表が増えた点も特筆されます。

発表者の皆様、素晴らしい作品の数々と、効率的な進行にご協力いただきありがとうございました。

定刻通りに副会長相良が閉会の挨拶をし、参加者一同、感動の余韻に浸りながら、懇親会の会場へと移動しました。

発表者と発表タイトルは下記の通りです。

<発表者と発表タイトル> 敬称略

1: 田中功 (写真 34 枚) [各地で出会えた
印象深い、思い出の鳥達]

2: 渡邊俊文 (写真 40 枚) [採餌]

3: 中西榮子 (写真 40 枚) [思い出いろいろ]

4: 新堀正則 (写真 37 枚、動画 3 本)
[不思議・びっくり・感動]

5: 吉田隆行 (写真 40 枚) [運搬]

6: 野口隆也 (写真 35 枚) [平成の終り～
令和の初めに逢った鳥]

7: 松田幸保 (動画) [カワガラスの子育て
2015年4月～6月 塩原]

8: 相良直己 (スライドショー) [サギ達の華
燭の祭典]

9: 岩本二郎 (写真 17 枚) [Powershot・
SX60HS で撮影した松之山探鳥会の鳥]

10: 多葉田五男 (写真 40 枚) [「BATA
の身近な自然」野鳥編4]

11: 古賀嗣朗 (写真 40 枚) [コスタリカの
鳥]

12: 百瀬喬 (動画) [手賀沼の野鳥 2018]

①「手賀沼の夜明け：早朝の陽光を浴びて
優雅に泳ぐ 12羽のオオハクチョウ」

②「手賀沼・ハス群生地のコハクチョウ」

③「定例手賀沼探鳥会で出会ったツルシ
ギ」

④「クイナの羽繕い」

⑤「クロハラアジサシの行水」

⑥「コチドリの孵化」

⑦「エナガ団子」

付録「2羽のウミスズメ」

13: 桑森 亮 (写真 40 枚) [思い出の野鳥
たち—南西諸島の野鳥を中心に—]

14: 池田日出男 (写真 40 枚) [昨年出会った
日本の野鳥 (18年8月-19年6月)]

今年も発表者からは事前に作品をお預かりし、予めスライドショーに編集した上で、発表をいただきました。

この結果、時間通りの効率的な運営もでき、作品の見栄えも素晴らしく大変好評でした。なお、発表作品は、当会ホームページ、「映写会写真集」に掲載されます。

当日、ご参加いただけなかった皆さんは、ホームページ上でお楽しみください。

また、今年度末に作成される2019年度当会活動の記録DVDには、掲載にご同意いただいた動画、スライドショーを含む全作品が掲載されます。

<参加者> (敬称略 50音順)

当日参加者：池田日出男、岩本二郎、金子智恵子、金子雅幸、菊地幸雄、菊地昌江、桑森亮、古賀嗣朗、小林建吏朗、小林博之、小林美智子、小山雄二、坂元貴子、佐和橋みどり、嶋崎省、新沢政之、関口英治、芹澤正子、田中功、千葉洋、常盤孝義、富田めぐみ、内藤千鶴子、内藤正久、鍋倉妙子、新堀正則、西嶋昭生、野口隆也、野口紀子、野尻清隆、肥後邦彦、弘實和昭、船津登、間野吉幸、宮本秀樹、百瀬喬、森本宜久、吉田隆行、渡邊俊文 (39名)

作品発表者(上記以外)：多葉田五男、中西榮子、松田幸保 (3名)

<担当幹事>石渡成紀、(報告)相良直己
合計 44名

懇親会

7月13日

毎年恒例の映写会後の懇親会を今年も“どん亭我孫子店”で行いました。

33名の方に(男性24名、女性9名)参加していただきました。最も遠方からは横須賀からご参加いただきました。探鳥会の時とは違い久しぶりに顔を合わせる方も多く、近況報告や鳥談議に大いに話が弾んでいました。

食事が一段落したところ今年も岩本さんのご協力、鳥の声・人の声当てクイズを行いました。鳥の声よりも人の声の方が正解率が低かったのは皆さんびっくりしていました。約2時間の間大変盛り上がった懇親会となりました。

皆様のご協力ありがとうございました。

<参加者>石渡成紀、岩本二郎、金子雅幸、金子智恵子、木村稔、桑森亮、小玉文夫、小玉信子、小林博之、小山雄司、相良直己、新沢政之、関口英治、芹澤正子、田中功、千葉洋、常盤孝義、富田めぐみ、内藤正久、内藤千鶴子、鍋倉妙子、新堀正則、西嶋昭生、野口隆也、野尻清敬、船津登、間野吉幸、百瀬喬、吉田隆行

<担当幹事>小林美智子、野口紀子、佐和橋みどり、(報告)坂元貴子

日時 8月4日(日) 19:00~20:20

観察場所 岡発戸谷津(主にホタル・アカガエルの里付近)

参加者：【当会会員】松田幸保、畠中暁美、徳重玲子、野尻清敬、野尻恭子、岩本二郎、(担当：木村稔、桑森亮)、計8名(うち鳥博友の会とのダブル会員が4名)【鳥博友の会だけの会員】6名【一般の方々】3名
合計 17名

報告：毎年夏の恒例行事「ホタルの夕べ」を当会と鳥の博物館友の会の共催で行いました。

当日カウントできたヘイケボタルの数は183頭で去年より少し増え、今年も100頭超を記録できました。これで10年余り連続して3桁の観察数となります。

午後7時までに集合し、谷津ミュージアム元会長でもある木村さんから改元の令和に因んで万葉集を紐解いて、万葉の時代からホタルが人に親しまれていたことなどをお話いただきました。万葉時代のクイナの鳴き声は夏クイナ(ヒクイナ)のことで、当時はクイナとヒクイナが区別されていなかったとのこと。最近、谷津でヒクイナの声が夜に聞かれることもあり、この話題となりました。こうした事前レクチャーの後観察会をスタート、15分程歩くと谷津に入ります。しばらく歩くと先ずは夜にレースのような花を咲かせるカラスウリを観察し、その後ホタルの棲息域の湿地になるとホタルが見え隠れしはじめ、ライトを消して暗闇に目を凝らします。最初はポツリポツリと仄かな光が飛び交いますが、棲息が集中する湿地域に入ると突然その数が増えてきます。ホタル・アカガエルの里付近の水辺にもホタルが乱舞しはじめると、参加者からは密やかな歓声があり、子供たちのグループは大喜びで仄かな光を手で包んで観察する子供もいました。観察会に初参加の方が数名、ホタルが初めてという人もいて、夏の夜の幽玄と癒しのひと時を楽しんで頂けたかと思えます。

貴重なホタルの棲息地が身近にあるのは、日頃から谷津の保全・整備をされている谷津ミュージアムの会などボランティアの方々

のご尽力のお蔭であり、この場を借りてお礼申し上げます。
我孫子近隣のホタル棲息地は限られており、この地が今後も持続的に保全されることを願って報告とします。

(報告：桑森亮)

7月役員会報告

日時 7月14日(日) 13:00~17:00

場所 水の館 3F 研修室

議事

1. 市民のチカラまつり 2019 への出展

事務局の提案資料に基づき検討し、出展の大綱と当日の担当スタッフ(役員)を決定しました。出展内容は昨年同様で参加型企画の「野鳥の名前当てクイズ」と「野鳥ビンゴ」を行います。詳細は、別途記載の行事案内をご覧ください。

2. JBF2019 への出展

事務局の提案資料に基づき検討し、出展内容の骨格と役員の分担体制を決定しました。具体的内容は今後担当ベースで検討し、次回役員会で最終決定します。詳細は、別途記載の行事案内をご覧ください。

3. ほーほーどり 270 号掲載予定記事

会報 270 号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。

4. 2019 年度第 1 四半期会計報告

会計担当が資料に基づき報告し、異議なく了承されました。

5. 創立 50 周年記念事業検討委員会の設置

事務局の提案資料に基づき検討し、委員会の設置とその枠組みを決定しました。委員は役員と一般会員から候補者を人選、次回役員会で決定することにしました。役員の委員は三役で選考し、一般会員の委員は会報と ab-yacho で募集します。委員会の概要と募集の詳細については別途記載の「お知らせ」をご覧ください。

6. 有志探鳥会の運用・取扱い

有志による個人探鳥会の参加呼び掛けに「ab-yacho」を活用することなどについて、事務局の提案資料に基づき検討しましたが、結論が出ず次回に持ち越しとなりました。

7. あびっ子ネットへの情報提供

12 月に実施する「親子ふれあい探鳥会」について、間野顧問があびっ子ネットに情報提供することを提案し、異議なく承認されました。

8. 報告事項

- ① 柏支部活動報告
- ② バードウォッチングの視点・注意点
- ③ 新入会員オリエンテーション実施結果
- ④ 写真会・懇親会実施結果(速報)
- ⑤ 対外活動報告(JBF2019 関係等)
- ⑥ 事務局報告事項

以上

鳥 だ よ り

5 月、6 月は鳥達の繁殖時期です。手賀沼では、コブハクチョウやカイツブリが子供を連れて現れ、散歩の人達を楽しませていました。沼の周辺ではツバメにサシバ、コチドリ、キビタキ、ツミなどの嬉しい繁殖関連の報告が寄せられています。

ホトトギスが「特許許可局」と鳴きながら飛ぶと、ウグイスが大きな声でさえざります。托卵されるのがわかっているのでしょうか。

お天気の方は、5 月が異常に暑かったのですが、6・7 月は梅雨寒が長く続きました。コガモとカンムリカイツブリが 6 月になっても見ることができたのも、この天候が影響したのでしょうか。鳥達の繁殖事情にも影響があったのか、心配になりますね。

ヒメアマツバメですが、手賀沼流域でも、生息域を拡大しているのではないかとの報告が

あり、期待が膨らんでいます。こちらにも注目して行きたいですね。
暑さに負けず探鳥、たくさん鳥だよりを送ってください。

- 5.22 【片山（手賀の丘公園）】 ヤマガラ(3)
船津登
- 5.22 【片山（手賀の丘公園）】 キバ(2)
囀る 船津登
- 5.22 【発作】 材ヨシキリ(約 10)
葦原で囀る 鈴木静治
- 5.23 【大堀川河口】 カイツブリ(4)
給餌、雛を背に乗せ泳ぐなど 吉田隆行
- 5.23 【発作】 コバハチョウ(4)
孵化後間もない雛を連れ泳ぐ 鈴木静治
- 5.23 【布施】 キバ(2)
森の中で囀る 鈴木静治
- 5.27 【正蓮寺】 コトドリ(2)
鳴き声 飯泉仁
- 5.27 【戸張地区公園】 フクロウ(2)
優しい鳴き声をした。覗くと樹間を飛ぶ 吉田隆行
- 5.27 【中原地区】 ツミ(1)
巣のなかに飛来 飯泉仁
- 5.27 【別所】 センダ イシクイ(1)
森の中で囀る 鈴木静治
- 5.27 【別所】 ヒバリ(7)
草原上空で囀る 鈴木静治
- 5.27 【若柴】 ヒメアマツハメ(2)
飛翔し移動 飯泉仁
- 5.28 【片山（手賀の丘公園）】 サバ(1)
木から飛ぶ 船津登
- 5.28 【片山（手賀の丘公園）】 ウグイス(2)
囀る 船津登
- 5.30 【戸張】 コトドリ(4)
畑地で親 2 羽が雛 2 羽を体で隠したり遊ばせたりしていた。 吉田隆行
- 6.01 【江蔵地】 チュウキギ(13)
水田で餌探し 鈴木静治
- 6.01 【江蔵地】 チョウゲンボウ(1)
堤防上空でホーリング 鈴木静治
- 6.01 【中峠】 トビ(1)
葦原上空を飛ぶ 鈴木静治
- 6.01 【中峠】 モズ(1)
木の茂みに止まる 鈴木静治
- 6.02 【片山】 材ヨシキリ(1)
葦原から鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.02 【千間橋】 ヨシコイ(1) 初認
中州の蒲の茎を伝い歩きする 鈴木静治
- 6.02 【中原地区】 ツミ(1)
雌が巣の中で抱卵(育雛)中 飯泉仁
- 6.02 【布瀬】 材ヨシキリ(2)
鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.02 【箕輪新田】 コトドリ(3)
農道を歩き移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.02 【箕輪新田】 ヨシコイ(1) 初認
鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.03 【片山（手賀の丘公園）】 材カ(1)
木に止る 船津登
- 6.03 【片山（手賀の丘公園）】 ヤマガラ(5)
船津登
- 6.03 【片山（手賀の丘公園）】 キバ(2)
小枝に止りさえずる 船津登
- 6.03 【つくし野 4 丁目】 コトドリ(2)
よく響く大きな声で鳴きながら低空飛翔。スマートで白っぽいきれいな姿が肉眼でもはっきり見える。 田中功
- 6.03 【手賀川沿いの中州】 ヨシコイ(1)
中洲のガマ、ヨシの水面に近い茂みに茎伝いに動いていました。 鈴木静治
- 6.04 【手賀沼】 ミサゴ(1)上沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 6.04 【手賀沼辺】 チョウキギ(9)下沼 9
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子
- 6.05 【岡発戸新田】 ヒクケ(1)
湿地より鳴き声 鈴木静治
- 6.05 【高野山】 フクロウ(1)

- 森より鳴き声 鈴木静治 谷津田上空を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 6.06【岡発戸新田】ヒクヰ(1) 6.16【北新田】オヨシキリ(2+)
- 葦原の中で囀る 葦原 佐藤さなえ・松田幸保・他8名
- 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出 6.16【布瀬】キバヰ(1)
- 男・蒲田知子・千葉洋・坂元貴子・嶋崎 囀り 飯泉仁
- 省・相馬唐代子 6.16【北新田】トビ(1)
- 6.06【岡発戸新田】モズ(2) 飛翔 佐藤さなえ・松田幸保・他8名
- 森の木の間を動く 6.16【北新田】チョウゲンボウ(1)
- 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出 飛翔ホバリング
- 男・蒲田知子・千葉洋・坂元貴子・嶋崎 佐藤さなえ・松田幸保・他8名
- 省・相馬唐代子 6.16【北新田】モズ(1)
- 6.08【中原地区】ツミ(1) 木立の上
- 雌が巣の中で抱卵中 飯泉仁 佐藤さなえ・松田幸保・他8名
- 6.08【高野山新田】コガモ(1) 6.17【片山(手賀の丘公園)】ウグイス(3)
- 杭の上で休む 船津登 囀る 船津登
- 6.12【岡発戸都部の谷津】オヨシキリ(5) 6.17【高野山新田】ヒクヰ(1)
- 数か所より囀りが聞こえた。 間野吉幸 葦原より鳴き声 鈴木静治
- 6.12【下沼田】チュウキギ(2) 6.17【中原地区】ツミ(1)
- 水田で餌探し 鈴木静治 雌が巣の中で抱卵中 飯泉仁
- 6.12【正蓮寺】ヒバリ(1) 6.19【千間橋】ヨシゴイ(2)
- 囀り 飯泉仁 中州の蒲に止まり鳴く 鈴木静治
- 6.12【若柴】ヒメアマツハメ(2) 6.19【発作】チュウキギ(2)
- 飛翔し移動 飯泉仁 水田より飛び立つ 鈴木静治
- 6.13【千間橋】カムカイツブリ(1) 6.19【布瀬】ヤマガラ(2)
- 川中を泳ぐ 鈴木静治 林縁の高木の枝に止まり鳴く 鈴木静治
- 6.13【布施】カイツブリ(5) 6.20【大井新田地先上沼】オヨシキリ(5+)
- 親子で川中を泳ぐ、鳴く 鈴木静治 葦穂や木の枝で盛んに囀る 吉田隆行
- 6.13【布施】ホトギス(1) 初認 6.20【布瀬】ウグイス(4)
- 森の中で鳴く 鈴木静治 森の中で囀る 鈴木静治
- 6.14【片山】サハ(1) 6.20【布瀬】キバヰ(3)
- 電柱に止る 船津登 森の中で囀る 鈴木静治
- 6.14【片山(手賀の丘公園)】ホトギス(3) 初認 6.21【柏】コトドリ(2)
- 鳴き声 船津登 近所の畑で親は見張り、雛は採餌
- 6.14【片山(手賀の丘公園)】ヤマガラ(3) 吉田隆行
- 船津登 6.21【布佐平和台】ホトギス(1)
- 6.14【片山(手賀の丘公園)】ウグイス(3) 宅地で鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 囀る 船津登 6.25【別所】ヒバリ(11)
- 6.14【古戸】ノスリ(1) 草原上空で囀る 鈴木静治
- 畑の電柱に止まる 鈴木静治 6.25【別所】モズ(1)
- 6.16【片山】オヨシキリ(1) 森の中で鳴く 鈴木静治

- 6.26 【中原地区】 ツミ(2)
幼鳥が移動 飯泉仁
- 6.27 【戸張新田】 ハブサ(1)
鉄塔 95 の天辺で休息か 吉田隆行
- 6.28 【片山（手賀の丘公園）】 トビ(1)
上空を鳴きながら飛ぶ 船津登
- 7.01 【片山】 サハ(1)
電柱に止る 船津登
- 7.01 【布佐平和台】 ウグイス(1)
林の繁みで囀る 鈴木静治
- 7.02 【手賀沼】 チュウキ(10)下沼 10
金子雅幸・船津登・坂元貴子
- 7.02 【手賀沼】 ミコ(1)上沼 1
金子雅幸・船津登・坂元貴子
- 7.02 【手賀沼】 材ヨシキ
金子雅幸・船津登・坂元貴子
- 7.03 【布佐平和台】 ホトキス(1)
住宅地で 10 分位囀る 鈴木静治
- 7.04 【つくし野 4 丁目】 コトドリ(7+)
よく徹る高周波の声で、低く敏捷に旋回し
つつ飛びまわる。 田中功
- 7.04 【発作】 チュウキ(1)
水田で餌探し 鈴木静治
- 7.05 【新木】 イシキ(1)
小川より飛び立つ 鈴木静治
- 7.05 【江蔵地】 モス(1)
葦原で鳴く 鈴木静治
- 7.05 【片山（手賀の丘公園）】 ヤマガラ(1)
船津登
- 7.05 【中峠】 材ヨシキ(1)
葦原の中の小さい柳上で囀る 鈴木静治
- 7.06 【中原地区】 ツミ(4)
巢に中に成鳥雌、幼鳥 3 羽 飯泉仁
- 7.06 【布瀬】 サハ(1)
飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 7.08 【片山（手賀の丘公園）】 ウグイス(2)
囀る 船津登
- 7.08 【中原地区】 ツミ(2)
成鳥と幼鳥が飛翔 飯泉仁
- 7.09 【中峠】 サハ(3)
吉田隆行
- 昼前サシバのヒナたちに遭遇できました。
親が飛来すると 2 羽が待ってましたとばかり飛び付き、大騒ぎでした。松本勝英
- 7.10 【千間橋】 トビ(1)
遠くより鳴き声 鈴木静治
- 7.10 【千間橋】 ヒバリ(3)
水田上空で囀る 鈴木静治
- 7.13 【大井新田先手賀沼】 ウグイス(1)
囀り 飯泉仁
- 7.13 【片山新田先手賀沼】 ミコ(1)
水面の杭に止まっていた 飯泉仁
- 7.13 【布瀬】 チョウゲンボウ(1)
電柱に飛来 飯泉仁
- 7.13 【箕輪新田先手賀沼】 トビ(1)
杭に止まり休んでいた 飯泉仁
- 7.13 【若柴】 ハン(1)
水面を移動 飯泉仁
- 7.14 【中原地区】 ツミ(1)
鳴き声 飯泉仁
- 7.15 【片山（手賀の丘公園）】 ヤマガラ(1)
船津登
- 7.15 【布佐平和台】 ホトキス(1)
森より鳴き声 鈴木静治
- 7.15 【北新田】 コトドリ(1+)
水田 佐藤さなえ・上野拓・他 3 名
- 7.15 【北新田】 ウグイス(複数)
草叢の中 佐藤さなえ・上野拓・他 3 名
- 7.15 【北新田】 チョウゲンボウ(1)
飛翔 佐藤さなえ・上野拓・他 3 名
- 7.17 【千間橋】 チュウキ(4)
水田で餌探し 鈴木静治
- 7.17 【千間橋】 ヒバリ(2)
上空高くとび囀る 鈴木静治
- 7.17 【布瀬新田(手賀川)】 ヨシコイ(5)
葦原から飛ぶ・葦に止る 船津登
- 7.17 【布瀬新田(手賀川)】 材ヨシキ(4)
草原を飛び回る 船津登
- 7.18 【慈恵病院】 サハ(1)
一番高い木の天辺に止まっていた。

■今回寄せられた鳥の全種名■

アオサギ、イソシギ、ウグイス、エナガ、
 オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オナガ、
 カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、
 カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キアシシ
 ギ、キジ、キジバト、キビタキ、ゴイサギ、
 コガモ、コゲラ、コサギ、コチドリ、コブハ
 クチョウ、サシバ、シジュウカラ、スズメ、
 セグロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、
 ダイサギ、タヒバリ、チュウサギ、チョウゲ
 ンボウ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハク
 セキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、
 ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒバリ、ヒメア
 マツバメ、ヒヨドリ、フクロウ、ホオジロ、
 ホトトギス、ミサゴ、ムクドリ、メジロ、モ
 ズ、ヤマガラ、ヨシゴイ 計 56 種
 <番外種>インコ、ガビチョウ、カワラバト、
 コジュケイ

■今回の投稿者の総投稿件数■

飯泉仁	308
飯泉仁・飯泉久美子	92
小山雄司	5
金子雅幸・船津登・桑森亮・坂元貴子	17
金子雅幸・船津登・坂元貴子	20
佐藤さなえ・松田幸保・他 8 名	25
佐藤さなえ・上野拓・他 3 名	24
鈴木静治	246
鈴木静治・間野吉幸・坂元貴子 ・相馬唐代子・小林建吏朗	14
鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田 日出男・蒲田知子・千葉洋・坂元貴 子・嶋崎省・相馬唐代子	14
田中功	3
畠中暁美	1
船津登	117
松本勝英	2
間野吉幸	27
吉田隆行	16
総計	931

(弘實和昭)

【会員だより】(ab-yacho より)

【2019年のオオヨシキリ調査結果】

2019.05.16 小田谷嘉弥

本日のオオヨシキリ調査にご参加いただいたみなさま、ありがとうございます。天候に恵まれて、無事に調査を行うことができて良かったです。

今日の調査で確認できた、囀っているオオヨシキリの雄の数は以下の通りです。

上沼北岸：1羽
 上沼南岸：20羽
 下沼北岸：11羽
 下沼南岸：45羽
 合計：77羽

参考：手賀川（曙橋～浅間橋）：65羽

2009年に再開してからでは、2015年と並んで2番目に多い数となりました。昨年の52羽から増加しましたが、今年是比较的風も弱く、コンディションがよかったことも関連しているかもしれません。上沼北岸では1羽と過去最低を記録しましたが、上沼南岸はここ数年の

一桁台から持ち直して 20羽という結果でした。来年以降もどう変化するか引き続き調査を行いたいと思います。来年以降も、同様の時期にオオバンとオオヨシキリのカウント調査を継続して行っていきたいと考えております。今後とも、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【5月のキンクロハジロ】

2019.05.24 浅井久

去る5月15日に縁あって、間野顧問に、私が参加する勉強グループの定例会で我孫子の鳥の講演とバードウォッチングの指導をしてもらいました。バードウォッチングは水の館から高野山新田方面へ手賀沼遊歩道沿いで行いました。バードウォッチングの終盤にかかったころ、小さなカモ類がいるのに気が付きました。間野さんが居たおかげで、キンクロハジロのメスと同定できました。家に帰って、データ（2010年以降）を調べたところ、キンクロハジロが5月以降に入ってから観察されたのは、2012年以降のことでした。2011年は5/9、2012年は6/15に観察されていますが、その後で一番遅い記録は2017年の4/25でした。

【みなさまから寄せられた鳥だより】

2019.05.26 田中功

5月度に入り、ムナグロなどの飛来情報が寄せられています。また、コチドリ・オオヨシキリをはじめ、手賀沼周辺での繁殖の報告も寄せられています。ホオジロの囀りの報告も、4月度に引き続き、多数寄せられています。ホオジロの囀りと言えば、私が直ぐ思い出すのが、島木赤彦の“高槻のこずえにありて 頬白のさへいずる春に なりにけるかも”という万葉調の短歌です。冬の長い信州出身の島木赤彦が、春の到来に、強く感興を覚えて詠ったものでしょう。ちなみに、俳句では、ホオジロは秋の「季語」とされているようです。

5月度に入っても、サギ類の報告数は、多くありません。また、隣人から、“あの チョットコイ チョットコイ と大きな声で鳴く鳥の声を最近、全く聞かないが、どうしたのか？” と2度ほど訊かれたことがあります。鳥便りでも、そういえば、最近ほとんど報告がありません。皆さんのお近くでは如何でしょうか？

【コジュケイの声】

2019.05.26 畠中暁美

田中さま こんにちは
先ほどのメールでコジュケイの声を聞かないとのことでしたが、私は寶蔵寺の下、中央学院大学の間で4月5日13:30頃散歩の時に暫くぶりに聞きました。前は良く聞こえましたが、そういえば最近は珍しくなりましたね。

【Re コジュケイの声】

2019.05.26 田中功

畠中暁美さま
そうでしたか！ 以前は、つくし野周辺で、遠くまで届く大きな特徴のある声で、チョットコイ チョットコイ（繰り返し だんだん 尻下がりに声小さくなって）と鳴く声を聴いたものですが、最近は 殆ど と言うか 全く聴かれません。ご近所の奥様方から何回か指摘されています。・・・いまや貴重な鳴き声体験！？ かもしれないです。それにしても、コジュケイは どこへいったのでしょうか？

【手賀川・千間橋周辺のヨシゴイ】

2019.06.03 鈴木静治

皆さん 今日は
田植えもほとんど終わり緑の水田になり、手賀川の中州のヒメガマ・ヨシ・マコモも大きくなってきました。田にはチュウサギの群れが見られました。

中州近くにまだカンムリカイツブリ 1羽が泳いでおり、中洲のガマ・ヨシの水面に近い茂みにヨシゴイ 1羽が茎伝いに動いていました。これでオオヨシキリ、セッカの囀りと共に、やっと初夏が来た感じがしました。なおヨシゴイは 2011～2012 年頃は中州で 20～30 羽見られ、繁殖し、幼鳥も多く見られましたが、最近は数が減ったようです。

手賀川の千間橋付近に来られた時にはヨシゴイを探してみてください。

【印旛沼にて】

2019.06.03 新堀正則

皆さま おはようございます。

昨日の夕方 17:30-18:30 にかけて北部印旛沼の長門川河口西側に行ってみました。ヨシゴイが盛んに飛び回り、沼中央ではクロハラアジサシが飛翔していました。ウシガエルの鳴き声に混じって時折サンカノゴイの低い不気味な声が響きます。遠方でしたが、大きめの黒っぽいゴイが飛翔したのを確認しています。全身黒っぽく、どこも白っぽい箇所がなかったので、おそらくサンカノゴイと思われます。鳴き声の方向と距離から 3 個体は少なくともいるかと思われます。辺りがかなり暗くなっているときに、ツバメの大群がヨシ原を乱舞するのは、ちょっと驚きました。6/16 の印旛沼探鳥会が楽しみです。

会からのお知らせ

<募集：7月役員会議から>

1. 創立 50 周年記念事業検討委員会委員の募集について

当会は 1972 年 3 月に創立し、3 年後の 2022 年 3 月で 50 周年の節目を迎えることになります。この 50 周年を迎えるにあたり、記念事業を検討、具体化し、円滑に実施するため、**創立 50 周年記念事業検討委員会**を設置します。

この委員会の委員を会員の皆さんから募集しますので、是非積極的にお申し込み下さい。
申し込み期限は 9 月 13 日（金）、申し込み先は事務局桑森（E-mail : r-kuwamori@icom.zaq.ne.jp、☎ 04-7182-3149）とし、委員は役員会で最終決定します。

なお、委員会の概要は次の通りです。

- (1) 委員会は、創立 50 周年記念事業を検討し、具体的実施計画等を役員会に提案し、事業の実施は役員会が決定します。
- (2) 委員会は主として次の事業の計画及びスケジュールを検討します。また、その他の事業も検討し、実施を提案することができます。
 - ① 記念誌の発行
 - ② 記念行事の実施
 - ③ その他
- (3) 委員会の組織は次の通りです。
 - ① 委員長は当会会長とします。
 - ② 委員は 10 名程度とし、役員と一般会員からそれぞれ半数程度を目安に選任し、役員会で決定します。
 - ③ 一般会員の候補者は会報及び ab-yacho で告知し募集します。
- (4) 委員会が検討した個別件名の事業内容を具体化し、円滑に実施するため、委員会の下に作業部会（ワーキンググループ）を設けることができます。作業部会の設置及びメンバーは委員会が提案し、役員会で決定します。
- (5) 委員会は設置後 3 年間で活動の目安とし、検討状況を随時役員会に報告します。

2. あびこ市民のチカラまつり 2019 スタッフの募集

行事案内でも記載していますが、「市民のチカラまつり」に出展する当会ブースの運営スタッフを募集します。次の時間帯の中から希望時間帯（区分）を選び、申込み下さい。皆さんの絶極的な参加、ご協力をお願いします。

○ スタッフ時間帯

区分	実施日	時間帯
A	9月14日（土）	10時～13時（準備含め）
B	9月14日（土）	13時～16時
C	9月15日（日）	10時30分～13時
D	9月15日（日）	13時～16時30分（片付け含め）

○ スタッフの仕事内容

- ① 展示物（当会紹介パネル&野鳥写真）の来訪者への説明・案内
- ② 参加型企画の「野鳥の名前当てクイズ「この鳥なーに？」及び「野鳥ビンゴ」のやり方の指導と運営・サポート

○ 当会ブース出展場所

けやきプラザ 2F ホール（我孫子駅南口左）

○ 申込先

事務局桑森（E-mail : r-kuwamori@jcom.zaq.ne.jp、☎ 04-7182-3149）

<訂正とお詫び>

前号（269号）の「2019年度下期行事計画」の1/26「市民手賀沼船上探鳥会」は、船上ではなく、遊歩道での探鳥会のため、正しくは「市民手賀沼探鳥会」です。訂正しお詫び申し上げます。

<新入会員紹介>

宮川香奈枝（我孫子市在住）

ほーほーどり No. 270（2019年9～10月号）

発行 2019年9月1日

発行人 船津登

編集人 青木典子、古出洋子、千葉洋、鍋倉妙子、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台2-15-17 桑森亮 Tel : 04 - 7182 - 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円（大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料）